



日本を第二の故郷と思うJET参加者がどのような復興活動に関わっているのか——。ボランティア活動から募金活動まで、彼らの多大な努力を紹介します。

# 復興に貢献するJET参加者

マシュー・クック  
大阪府教育委員会

大阪府で外国語指導助手 (ALT) として勤務している5年目のJET参加者で、アメリカ合衆国の出身です。



昨年9月に岩手県陸前高田市に旅し、現役JET参加者と元JET参加者とともにボランティア活動に参加しました。このような活動に参加することを通して、住民一人一人が地域の大切な一員であるということがさらにわかり、助け合いの精神が増したと感じました。

岩手県陸前高田市  
でボランティア活動  
に取り組むJET  
参加者・元JET参  
加者



がれき等撤去の作業



写真撮影：陸前高田市でボランティア活動に参加したイル・スン・ユー



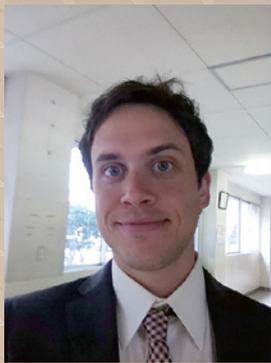
ナヤラン・ムードリ  
群馬県渋川市教育委員会

群馬県渋川市で外国語指導助手 (ALT) として勤務している4年目のJET参加者です。南アフリカ出身です。岩手県大船渡市で、がれき撤去や建物等の再建作業に数回参加しました。ボランティア活動は楽しい経験であるとともに、日本の復興に自らの手で貢献することができ、とてもやりがいのあるものです。これからもボランティア活動に参加し、私を温かく迎え入れてくれた地域の復興に貢献していきたいと思っています。

岩手県大船渡市でアパートの天井作りや断熱材を入れる作業に取り組む



岩手県大船渡市でボランティア活動に参加する群馬県のJET参加者



レオナード・ブロンバーグ  
熊本市教育委員会

熊本市北区で外国語指導助手 (ALT) として勤務している2年目のJET参加者です。アメリカ合衆国出身です。

昨年5月に、熊本県のJET参加者と県民とともに宮城県石巻市へ行き、1週間自宅等の清掃活動に参加しました。短い期間でしたが、復興に少しでも貢献できたのは大変充実した、素晴らしい経験でした。



自宅清掃に取り組む

力を合わせてボランティア活動に快く参加する熊本県のJET参加者と県民

ガリレオ・ユセコ  
福島県教育委員会

福島県で外国語指導助手 (ALT) として勤務している4年目のJET参加者です。オーストラリア出身です。

大震災の悲劇により、私たち福島県に暮らしているJET参加者はその地域と住民との絆がより一層深まりました。福島県のJET参加者はチャリティーイベントを開いたり、募金活動やボランティア活動に参加したりするなど、時間とお金を惜しまず、それぞれの地域で活発に支援活動に参加しています。



児童養護施設でクリスマスパーティーを催す福島県のJET参加者



腹巻きを避難所に届ける福島県のJET参加者